

令和2年度学校図書館の現状に関する調査質疑応答集

○統廃合について

(1) 令和2年4月1日に新規開設の学校がある。回答すべきか？

答 令和2年5月1日付で存在する学校は調査対象なので回答いただきたい。ただ、回答は【Ⅰ人的配備】のみの回答でよい。【Ⅱ物的配備】、【Ⅲ実績】については令和元年度の状況なので回答不要。令和元年5月1日現在の学級数の項目に0と入力すること。

(2) 令和元年度末まで存在したA校とB校が、令和2年度新しくC校として整備され、A校、B校は廃校となった場合の扱いについて。

答 ア 全学年の生徒がC校の生徒となった場合。

回答の対象はC校とする。ただ、回答は【Ⅰ人的配備】のみの回答でよい。【Ⅱ物的配備】、【Ⅲ実績】については令和元年度の状況なので回答不要。令和元年5月1日現在の学級数の項目に0と入力すること。

イ 令和2年度入学生からC校の生徒、令和元年度以前の入学生は、入学時のAまたはB校の生徒として在学する場合。(学校基本調査に準ずる)

回答の対象はA、B、Cの3校(A、Bに2、3年生が在籍)とする。それぞれについて調査票を作成すること。

○ 休校について

令和2年5月1日時点で休校している学校は回答すべきか？

答 本調査は各校の実情を把握することを目的としていることから、令和2年5月1日現在の学級数が1以上の学校のみを調査対象とする。令和2年5月1日時点で休校であれば回答不要。

※調査票は作成不要です。提出しないようお願いします。

○ 全日制と定時制について

全日制と定時制がある学校について、調査票をそれぞれ作成する必要があるか。

答 まとめて一つの調査票を作成して回答すること。

【Ⅰ 学校図書館における人的整備の状況】

○ 司書教諭について

中高一貫教育を行う学校で一つの学校図書館を共有している。司書教諭は兼務がかかっている場合、中学校、高等学校それぞれに司書教諭が配置されていると回答してよいか？

答 司書教諭の本務で計上していただきたい。中学校本務の司書教諭ならば、中学校は配置されており、高等学校は配置されていないこととなる。なお、義務教育学校など、小中一貫教育を行う学校においても同様に取扱う。

○ 学校司書について

(1) 週2日は学校図書館勤務、他は事務室という勤務形態の者は学校司書に該当するか。

答 該当しない。

(2) 学校図書館業務を受託する事業者が雇用する者は学校司書に該当するか。

答 本調査における学校司書は、学校図書館法上の学校司書を想定している。学校図書館法上の学校司書は、学校の設置者が雇用する職員を想定しているものであり、学校図書館業務を受託する事業者が雇用する者は該当しないとされている。

(3) 学校事務職員や学校運営支援員として採用されたものが、実質的に学校司書の業務を行っている場合、学校司書に該当するか。

答 該当する。

(4) 実習助手など、職名が異なっても学校司書に該当するか。

答 「専ら学校図書館の職務に従事する職員」であれば該当する。

(5) 平日5日のうち、2日勤務している学校司書A氏と残りの3日勤務している学校司書B氏がいる場合、人数はどのように計上すればよいか。

答 非常勤職員2名となる。

(6) 非常勤の学校司書が複数名配置されており、それぞれ勤務時間が異なる場合、「1日当たり平均勤務時間」はどのように計上すればよいか。

答 各人の1日当たりの勤務時間を単純合計し、人数で割る。(日によって勤務時間が違う場合は、一番勤務時間が長い日を合計する。)

例：A氏が午前中3時間勤務。B氏が午後2時間勤務。C氏が隔週で6時間勤務の場合。

$(3 + 2 + 6) \div 3 \text{ (人)} = 3.7 \text{ 時間}$ 1日当たり平均勤務時間は3.7時間。

(7) 中高一貫教育を行う学校で学校図書館が一つあり、高等学校の職員が中学校の職員を兼務する形で専ら学校図書館を担当する職員として勤務している場合、どのように計上するか。

答 本務である高等学校で常勤として計上し、中学校では計上しない。なお、義務教育学校など、小中一貫教育を行う学校においても同様に取扱う。

(8) 小学部・中学部・高等部がある特別支援学校において、学校図書館が一つであり、そこに高等部所属の学校司書がいる場合は、どのように取り扱えばよいか。

答 高等部に計上し、小学部、中学部には計上しない。